

ねじりはちまき

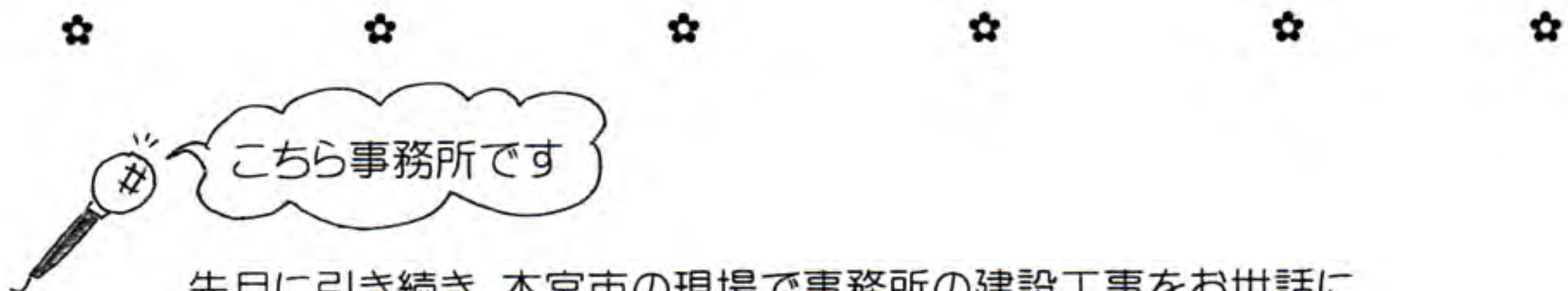
6月 水無月（みなつき） 芒種 夏至の月です。
1日は衣替えです。6日 芒種、10日 入梅、19日 父の日です。
21日 夏至です。

6月は紫陽花が見ものですね。
紫陽花の「あじ」は集まる、「さい」は藍色を意味する言葉と言われて
います。名前が表すように、紫陽花は小さな花で手毬のような形を作り、
密集して咲きます。花の色は、植えられた土地によって違いますが、徐々
に色を変えて行きます。七変化、八仙花、たまばな、てまりばな、など
と呼ばれていますが、変わり行く様子を日々眺めることが、季節の楽しみ
のひとつですね。

紫陽花は雨が似合う花で、重いほど水を含むことで、一層風情を漂わせ
ます。梅雨は人を憂鬱にさせますが、雨を受けて立つ紫陽花はうつうつと
した気持ちをつかの間、忘れさせてくれますね。

雨の日の外出も風情がありますが、充分足元には注意をして下さい。

幸田 常一



先月に引き続き、本宮市の現場で事務所の建設工事をお世話に
なっております。お盆の頃には完成の予定です。

また、近くの現場で住宅のトイレ工事をお世話になっております。

「フルサト」

私は、平成2年4月からK市で暮らしております。現在の住所に住居を構えて27年余り。生まれ育った故郷より、現在の住まいで生活している時間の方が、長くなりました。生まれ育った所が故郷か、現在住んでいる所が故郷か、と質問されれば、迷わずに私は「生まれ育った所が故郷」と答えます。

しかし、故郷のことがほとんど知らずに、少年時代を過ごしてきたことを、最近になり思い知らされました。それは今年の5月上旬に、山岳愛好会の仲間と一緒に、故郷の山、K市K町の「麓山(はやま)標高897m」に初めて登り、更にK市のK町に鎮座する千手観音堂に初参拝をして実感した次第です。

麓山は、山頂には小さな社が静まり、神々しさを感じました。天気にも恵まれ、足下にY部落、中間にT部落、その先に私が子どもの頃を過ごしたF部落と続き、田植え前の耕地整備された美しい水田と、新緑の美しい山々。

その右側に白く波立つ猪苗代湖、更に遠く残雪を頂く磐梯山の秀峰と、まさに名画を見る思い。こんなに美しい風景が故郷にあったことに、改めて感慨を深くしました。また、F部落に鎮座する千手観音堂を初めて参拝しましたが、観音堂の入り口には、樹齢400年余りと推定される榎の巨木2本の間を進み、(目通りの太さ6, 3 m、樹高は23 mと説明板に記載)、堂内に入れて頂き参拝をいたしました。

千手観音像は、耐火づくりの金庫の様な中に在り、直接拝むことは叶いませんでしたが、写真が堂内に掲げてあり、その写真に手を合わせて参りました。この観音像は高さ173 cm、檜の1木作りで、髪には墨を入れくちびるには朱を入れたもので、鎌倉時代の作と伝えられております。

私の子どもの頃は(第2次世界大戦から戦後まで)、隣の部落に行くのは現在の感覚からすれば、遠い外国の様な感じでした。

また、1日何回か国鉄(当時)磐越西線J駅まで、木炭を燃料とするバスが走っていましたが、そのバスに乗って隣の部落まで移動することなど考えもしませんでした。まさに、「井の中の蛙大海を知らず」で、子ども時代を過ごしました。

この様にして子ども時代を過ごし、85歳になった今思うことは、文字通り「井の中の蛙…」だったと反省するばかりです。

私は、この様な環境で子ども時代を過ごし、成人して県内各地で生活することになりましたが(転勤のために)、転居の先々で多くの方々にお世話になりお助けいただきまして、大きな間違いを起こさずに過ごすことができました。

誠に有難いことと思っております。後期高齢者の仲間に入れていただき早くも10年。体力気力共に落ちてしまい、お世話になった方々に直接ご恩返し

出来なくなりましたが、その心を忘れずに現在お世話をいただいている地域の
為に、ご恩返しが出来れば大変有難いと思う次第です。

k・s記

.....

今月の旬♡食材

「唐辛子」 とうがらし

唐辛子といえば、カプサイシン。

カプサイシンは唐辛子に含まれる辛さの成分で、摂取するとアドレナリンの分泌
を活発にさせ、発汗作用を促す働きをされるといわれています。

ビタミンC やカロテンも豊富に含まれていますので、疲労回復、肌荒れ、髪や
粘膜の健康を維持してくれます。

といっても、刺激物ですので摂り過ぎないように、気を付けたいですね。

.....

梅雨時の湿気対策(>_<)

もうすぐ梅雨の季節ですね。

お風呂や洗面所、キッチン、クローゼットなど湿気がたまりやすい場所はこまめな
お掃除と、湿気がたまらないような工夫が必要ですね。

押入れの中には、すのこや新聞紙を用いて湿気がたまらないようにする。

洗濯物を室内に干すときは、洗濯物の下に新聞紙を丸めたものを置いておく。

お菓子の乾燥剤を集めておいて、靴箱の中に利用する。

結露が出来たらそのままにせず、こまめに拭き取る。

あちこちに除湿剤を入れておく。

除湿器をかける。

炭を置いておく。

など、皆さん色々工夫されているようです。

効果的なのはやはり風を入れることだそうです。室内の対角線の窓を開けて、
空気の流れをつくることです。空気の入り口と出口をつくることで、空気の溜り
を防げます。

窓を開けたのに空気が通らないときなど、扇風機を利用すると部屋の中の空気
を動かしてくれます。ただ、雨で外の湿度が80%以上あるような日は、風を入れる
ことで部屋の中に湿気も呼び込んでしまいます。窓は開けずに、換気扇だけまわす
方がいいようです。

夢を見続ける男 NO26

海外に影響を与えた日本人

今回は海外に影響を与えた日本人というテーマで書いてみたい。そうは言っても、小生は影響を与えたケースをそんなに承知していない。それで影響を与えた、その意外性に着目して紹介してみたい。うまくいくかどうか。つまり影響を与える意図を持たないのに結果そうだったという感じの話である。

先ず、「浮世絵」である。この場合影響を与えたのは一人の「浮世絵師」ではなく、「浮世絵」そのものなのである。前に葛飾北斎を取り上げたことがあるが、浮世絵は江戸時代に花開き、「美人画・役者絵・名所絵」を始め大変もてはやされた。その中で多数の浮世絵師が誕生したものである。ではどのようにして浮世絵は海外に渡ったのであろうか。実は、今分かっていることは、1850年代にパリのブラックモンというエッチング画家が日本からの陶磁器の詰め物に使われていた北斎漫画を眼にしたのが、浮世絵がヨーロッパ人の目に留まった始まりといわれる。そして彼が浮世絵の収集に努め、モネ、マネ、ドガの画家たちに見せて回ったという。一方、博覧会への出展がなされる。1867年の第2回パリ博に幕府などが、1873年のウィーン博には明治政府が出展し、浮世絵も展示される。さらに日本人の画商である林忠正の活躍があった。彼はモネ、ドガとも交流があり、彼の地で浮世絵の普及・啓蒙に努めたのである。こういう中でフランスを中心にヨーロッパで日本趣味の「ジャポニスム」という現象が起こるのである。画家や作家に大きな影響を与える。では浮世絵は誰に影響を与えたのか。印象派のモネ（睡蓮の絵で有名）とゴッホ（ひまわりの絵で有名）である。二人ともかなりの浮世絵を収集している。浮世絵の模写にも努めている（それが現在残っている）。モネは日本庭園も造っている。その庭園の池に「睡蓮」を配置する。この睡蓮の絵がモネのライフワークとなり、200枚も描いたのだ。当時のヨーロッパには異国への憧れがあったのである。「我らは国家的な世界で教育され、働いているが、もっと自然に立ち返らなければならない」と言われる時代的雰囲気の中で、絵画の世界では新しい造形表現の手がかりとして、その理想が日本や日本人に求められたようである（自然回帰運動）。その中心的役割を果たしたのが浮世絵である。「睡蓮」や「ひまわり」の絵に浮世絵がどのように影響を与えているのか、その解説は専門家に任せてここでは省かせていただく。影響を与えたことだけは事実である。江戸時代の「浮世絵師」も自分らの浮世絵がヨーロッパに影響を与えることになろうとは夢にも思わなかったであろう。優れた芸術の感性は人種を超えて共感をもたらすものだという事をこのことは教えてくれている。

次はジョン・F・ケネディ元米大統領に影響を与えた日本人の話である。影響を与えたのは江戸期の米沢藩主・上杉鷹山である。当時ケネディに「最も尊敬する日本人の政治家は上杉鷹山である」と言わしめたのである。これについては真偽のほどが疑われたこともあったが、ケネディの長女であるキャロライン・ケネディ（現駐日大使）から「父は上杉鷹山を尊敬していた」ことが明らかにされ、間違いのないことが確認された。これには当の上杉鷹山も墓の下でびっくりしていることであろう。ではケネディにそこまで言わしめた上杉鷹山とはどんな人であったのだろうか。ご存知の方もおられると思うが、少し探してみたい。米沢藩と言え、本県の隣である。近くの藩に偉大な人がいたのである。上杉鷹山（以下、鷹山という）は江戸時代中期の大名で、米沢藩9代の藩主である。高鍋藩（宮崎県）から米沢藩上杉家の養嗣子に入り、16歳で15万石の家督を継ぐ。ところがそのころ米沢藩は莫大な借財を負い、藩財政は破たん寸前であったのである。そのまま放っておけば忽ち破たんである。何とかしなければならぬ。それで儉約にはできるだけ努めてきたけれども、到底それだけでは追いつかない。参勤交代も節約に加えたら、逆に幕府から普請を言いつけられてかえって出費が増える始末。鷹山自身も粥をすすむような質素儉約に努めながら、思い切って藩の改革を進めようとする、抵抗勢力が頭をもたげ改革を

阻む。一進一退である。そこで鷹山は1年間収入・支出・借入金を詳細に記載した帳簿を作成した。財政状況を明らかにしたのである。こうして藩士に理解と協力を求めた。次に藩士に禄をはむだけでなく、生産に加わるよう勧めた。殖産興業に武士とその細君の参加を求めた。やがて田畑の開発に農民のみならず、武士も参加するようになり、養蚕・織物には武士の細君が従事するようになり、その裾野が広がってくる。これは鷹山が家督を早く譲って江戸詰めをなくし、専念したことも大きい。殖産興業では、その他織物との関係で染色用の紅花栽培も興し、木彫り工芸品(笹野一刀彫)・焼き物なども盛んとなってきた。さらに精神面でも藩内に「自助」と「互助」とを推奨し、その仕組みも造って浸透させる。例えば、毎年一人1升の粃を蓄えさせ、飢饉のときに農民から一人の餓死者も出ない状況をつくった。こうして藩財政は好転する軌道に乗り、鷹山の2代後の藩主時代には借入金も完済したのである。鷹山にして言える名言がある「なせばなる、なさねばならぬ、なにごとくも」、迫力のある言葉ではある。ところでケネディが鷹山を知るきっかけは何だったのであろうか。その手がかりは内村鑑三が英文の著書「代表的日本人」(1, 908年発刊)の中で上杉鷹山を紹介したのが、ケネディの目に留まったのではないかという説がある。接点はその辺りにあるのかも知れない。そういえばケネディの言葉に「私は国民に与えようとしているのではなく、新しい開拓者になるよう求めているのである」というのがある。何か鷹山の藩再生に向けて取り組んだ視点と重なるものがあるように思えるがいかがか。

次は柔道の話に移りたい。柔道は世界的に普及し、世界選手権はあるし、オリンピックの正式種目にもなっている。柔道は加納治五郎が21歳の時、明治15年(1882年)に講道館を創設し、それまでの柔術を改変、技を新たに体系化し、人間教育の精神も込めて「柔道」と称してスタートした。それが国内に急速に普及したのである。学校教育に取り入れられ、警察官育成課程に採用され、さらには軍隊、会社、町道場と普及の場は広まっていった。そして国際的にはどうか。国際的に普及するきっかけは、加納治五郎が1889年に柔道普及のため、自らヨーロッパに渡ったことである。柔道は「技」の合理性に加え、礼節を重んじる精神性も兼ね備えて評判を呼び、やがて国際的に普及していった。国際的競技として認知されるのは、1932年にはロスアンゼルスオリンピックで公開競技となり、1948年には欧州柔道連盟が結成され、翌年これにアルゼンチンが加わって国際柔道連盟が発足した(本部はスイスのローザンヌ)。そして第1回の世界選手権大会が1956年に開かれ、8年後の1964年には東京オリンピックで晴れて正式種目(男子)となったのである。女子の方は1992年のバルセロナオリンピックで正式種目となった。現在国際柔道連盟に加盟している国・地域は199となっている。5大陸に及んでいる。加納治五郎が柔道を創設してから130年以上経っているが、よくぞ日本発のスポーツ競技がここまで国際的に普及したものだ感慨深いものがある。加納治五郎もまさかここまで普及するとは思ってはいなかったであろう。余談だがフランスの柔道人口は本家日本より多いのだ。また、ロシアのプーチン大統領が国際柔道連盟から8段の称号を与えられたというのはご存知だろうか。プーチンは連盟名誉会長であり、ロシアは柔道が盛んなのだ。スポーツは国境を越え、人種を超え、人々の交流の道を開くもの、日本の柔道がその中で大きな役割を果たしていることは誠に喜ばしいことである。

<会社近況>

6月に入りました。
好天が続いていますね。さわやかで過ごしやすいですね。
でも、もうそろそろ梅雨に入ります。
梅雨の時期は雨が続き、家中に湿気も溜るし、洗濯物もなかなか乾かないし、
憂鬱になることもありますね。

でも梅雨だからこそ、ちょっとした楽しみもあるような気がします。
お気に入りの傘で散歩するとか、紫陽花を見に出かけるのもいいですね。
雨上がりには薄い虹が出ることもあります。普段見慣れている景色でも虹が
かかると特別美しく見えて、ちょっと得した気分になります。
雨の日は、温かい飲み物を用意して、心と体をゆっくり休ませる…そんな
時間があってもいいのかな。
梅雨時は、そんな小さな幸せを見つけて楽しみたいなあと思います。

さて、4月号でご案内させていただきましたが、この度企画住宅のちらしが
完成いたしました。(*^_^*)

今月号に同封させていただきましたので、ご覧下さい。

事務所内ではこれから始まる工事の打合せをしたり、図面や書類の作成など
をしています。

現場は引き続き本宮市で、事務所の建設工事をお世話になっています。

また、弊社近くの現場では住宅のトイレ工事をお世話になっています。

(お知らせ)

6/11(土) 25(土)

は、弊社都合によりお休みさせていただきます。

.....

平成28年 6月5日発行
有限会社 幸田建設
<発行責任者>幸田久美
〒969-1204
本宮市糠沢字八幡1-1
電話0243-44-3816

<後記>

この時期スーパーに行きますと、
果実酒作りのコーナーが設けられ
ていますね。青梅が代表的ですが、
レモンやブルーベリー、いちごでも
作れるそうです。どれもおいしそう。
挑戦してみたくになりますね。 事務員k